

令和4年度 可燃ごみ組成調査結果(5月10日～5月26日)

【調査結果の概要】

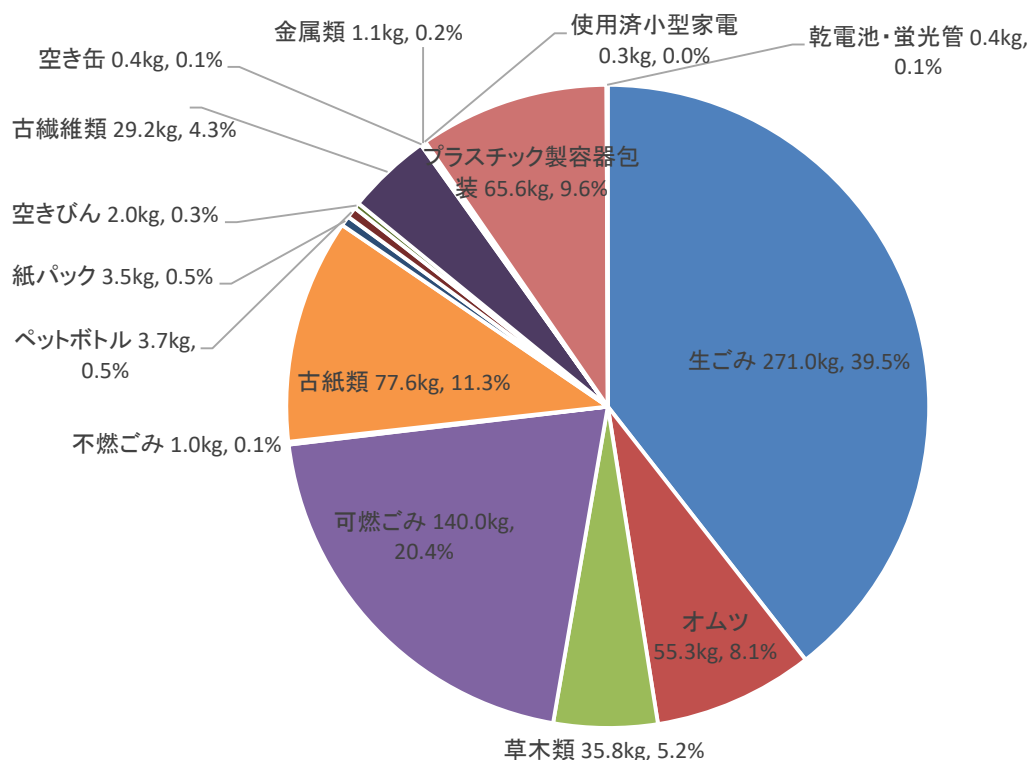
	R4年度の結果		R3年度の結果		R2年度の結果	
全体	686.9kg	100%	633.6kg	100%	671.30kg	100%
生ごみ	271.0kg	39.5%	246.4kg	38.9%	258.4kg	38.49%
オムツ	55.3kg	8.1%	53.2kg	8.4%	41.5kg	6.18%
草木類	35.8kg	5.2%	33.3kg	5.3%	52.7kg	7.85%
可燃ごみ	140.0kg	20.4%	148.6kg	23.5%	158.7kg	23.64%
不燃ごみ	1.0kg	0.1%	3.6kg	0.6%	1.1kg	0.16%
古紙類	77.6kg	11.3%	71.2kg	11.2%	81.7kg	12.17%
紙パック	3.5kg	0.5%	3.3kg	0.5%	3.6kg	0.54%
ペットボトル	3.7kg	0.5%	1.7kg	0.3%	1.8kg	0.27%
空きびん	2.0kg	0.3%	0.1kg	0.0%	0.7kg	0.10%
古繊維類	29.2kg	4.3%	9.7kg	1.5%	17.3kg	2.58%
空き缶	0.4kg	0.1%	0.1kg	0.0%	0.4kg	0.06%
金属類	1.1kg	0.2%	0.5kg	0.1%	0.5kg	0.07%
使用済小型家電	0.3kg	0.0%	0.8kg	0.1%	0.5kg	0.07%
プラスチック製容器包装	65.6kg	9.6%	61.1kg	9.6%	52.1kg	7.76%
乾電池・蛍光灯	0.4kg	0.1%	0.0kg	0.0%	0.3kg	0.04%

◎令和4年度実施箇所(6地区)

笠之原【笠之原公民館】、高隈中央【中津神社前】、寿4丁目【コーポ前園近く】

上谷【県営大浦団地2号棟】、花岡【鶴羽公民館、消防分団詰所前】

西原1丁目【つつみ公園】



鹿屋市では持続可能な循環型社会の実現を目指し、令和11年度までに市民1人1日あたりの家庭ごみを525g以下に減らすことを目標としています。

ごみの減量は、収集・運搬・処理に係る経費の削減や焼却施設、最終処理場の長寿命化につながるだけでなく、二酸化炭素排出量の削減にもつながります。